

公益社団法人 東大和市 シルバー人材センター広報誌

# け や き

〒 207-0015 東大和市中心3-912-3

電話 042-565-0531 FAX 042-566-2308 <https://www.silver-center.org/>

## 公益社団法人 東大和市シルバー人材センター 令和5年度 定時総会



### 目次

- ◆ 令和5年度定時総会開催・・・2
- ◆ 会員の表彰・・・2
- ◆ 新役員体制・・・3
- ◆ 名誉会長挨拶・・・3
- ◆ 就任の挨拶・・・4
- ・ 会長挨拶
- ・ 副会長挨拶
- ・ 常務理事兼事務局長挨拶
- ◆ 各委員会報告・・・5
- ・ 総務委員会
- ・ 事業委員会
- ・ 広報委員会
- ・ 安全管理委員会
- ◆ 会員寄稿・・・6
- ◆ センターの今後の予定・・・7
- ◆ 就業相談日 日程表・・・8

正会員数  
(7月1日現在)

男性	421名
女性	177名
合計	598名

令和5年度  
定時総会開催

令和5年6月23日（金）午後1時よりハミングホールにおいて、令和5年度定時総会が開催されました。

会員数577名の内、出席者総数452名、内訳は会場出席者73名、委任状提出者368名、議決権行使書提出者11名でした。

当日は、名誉会長・東大和市長 和地仁美様、東大和市議会議長 東口正美様、東大和市議会厚生文教委員会委員長 荒幡伸一様、東大和市シニアクラブ連合会会長 関 清一様のご臨席を賜り、定時総会が開催されました。

始めに、立石孝義会長から挨拶を申し上げ、続いて名誉会長（市長）、東大和市議会議長のご挨拶をいただき、東大和市議会厚生文教委員会委員長、及び東大和市シニアクラブ連合会会長のご紹介をいたしました。

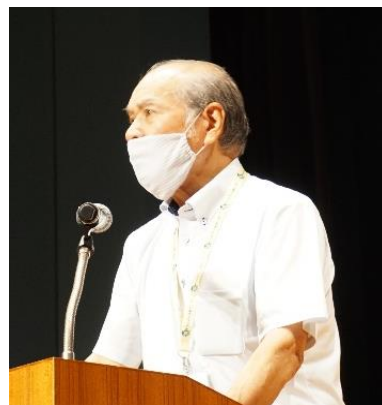
総会は、会長が仮議長に就任したのち、定足数を確認し、議長に立石会長を選任して、議事進行を行いました。



東大和市議会議長  
東口正美 様



シルバー人材センター  
名誉会長・東大和市長  
和地仁美 様



シルバー人材センター  
会長 立石孝義 様

総会は左記の案件について議事が進められ、4件の議事案件について、原案通り承認可決されました。

議 事

一、報告事項

①第1号報告

公益社団法人東大和市シルバー人材センター  
令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業報告の件

二、決議事項

①第1号議案

公益社団法人東大和市シルバー人材センター  
令和4年4月1日から令和5年3月31日までの計算書類等の承認の件

②第2号議案

公益社団法人東大和市シルバー人材センター  
理事11名の選任の件

③第3号議案

公益社団法人東大和市シルバー人材センター  
監事1名の選任の件

会員の表彰

定時総会終了後、令和5年度表彰式が行われ、次の方が表彰されました。会員表彰として平成25年4月から令和5年3月の10年間に70%以上就業された21名の方（敬称略・入会順）

- |       |       |
|-------|-------|
| 石川 吉次 | 横堀 京子 |
| 伊藤 卓子 | 原 節子  |
| 原 康夫  | 高萩 一英 |
| 清本 順子 | 百瀬 和磨 |
| 熊谷 侯彦 | 橋本 孝史 |
| 石飛 啓子 | 桃原 俊幸 |
| 坂井 吉身 | 星田 進  |
| 秋山 正光 | 吉田 均  |
| 鈴木 義雄 | 橋本 定範 |
| 仲沢 正子 | 村山 稔  |
| 大石 吉博 |       |



10年間に70%以上就業された方々



5年間継続して就業された80歳以上の方々

続いて、令和5年3月現在、それ以前に5年間継続して就業された年齢80歳以上の21名の方（敬称略・入会順）

尾亦 高一	島井 起
真野 武	島田 耐子
杉本 雄喜	増田 康彦
木暮 明彦	尾川 正昭
佐藤 祀夫	山田 恭司
月輪 廣行	本山千代子
杉浦 洋子	清本 順子
横井 昇	鎌田 正雄
関 勝	山口イネ子
矢村 勇	竹内 茂
井芹 郁示	

受賞された皆様、おめでとう  
ございます。お体を大切に、お  
元気で活躍ください。



新役員体制

### 新役員体制

令和5年度定時総会において、次の12名が役員として承認され、任期中の佐藤光一監事を含めた13名で、6月23日よりスタートいたしました。

- |       |       |
|-------|-------|
| 窪田 進  | 内田 孝治 |
| 田中 雅城 | 峯 信夫  |
| 西永 宣昭 | 橋本 安央 |
| 小林巳喜雄 | 村林 應  |
| 福田 一彦 | 川口 莊一 |
| 宮田 智雄 | 島井 起  |

### 名誉会長挨拶



名誉会長・東大和市長  
和地 仁美

公益社団法人東大和市シルバー人材センター名誉会長への就任に際し、ご挨拶申し上げます。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限が続きましたが、シルバー人材センターにおかれましては、

峯会長をはじめとした職員の皆様による創意工夫を積み重ねた活動と、会員の皆様のご尽力により、シルバー世代の就業機会の確保と、健康で充実した生活の維持が図られてまいりました。このことに対しまして、心より感謝と敬意を表すものであります。

さて、我が国は世界でも類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおります。一方「人生100年時代」といわれるように

長寿の方も多くなり、まだまだ活躍できる高齢者も大勢いらっしゃるかと認識しております。

そのような中で高齢者の就労の促進は、高齢者がつながりを感じ、心と身体の健康を維持できる効果的な方法の一つです。就労は、生活の糧の獲得だけでなく、生きがい、社会貢献、介護予防等多様な効果が期待できるものです。シルバー人材センターの取組により、会員の皆様の就労が進み、多くの場面で生きがいを持って活躍する会員が増えることは、他の高齢者にも良い刺激となり、活力ある社会の再生に大きく寄与するものと考えております。

市といたしましては、シルバー人材センターとの連携を密にして、高齢者の就労による「明るく元気な地域社会」の構築に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご活躍・ご多幸を祈念いたします。就任のご挨拶といた

## 就任の挨拶

## 【会長挨拶】



峯 信夫

会員の皆様には日頃よりご協力を賜り厚く感謝しております。この度、定時総会後の臨時理事会で、理事・監事の皆様よりご推挙を賜り、会長に就任させていただきました。重責でもあり、浅学の私ではありますが、精一杯、努力してシルバー人材センター事業に貢献してまいります。

シルバー人材センターの基本理念、「自主・自立」「共働・共助」を基に、地域社会への貢献と活性化に努めてまいります。事業への取組については、令和5年度から10年間の第2次長期計画に基づき、さらなる飛躍を目指してまいります。

さて、3年以上続いている新型コロナウイルス感染症や高齢者雇用安定法の改正により65歳までの雇用確保が義務づけられたことから、シルバー人材センターでは、全国的に会員数、

契約金額の減少傾向が続いておりましたが、本年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが、5類感染症に移行したこともあり、徐々に社会全体が躍動し始め、入会者数や契約件数も増えつつあります。また、女性会員も増加傾向にあり、今後の活躍が期待されます。

会員拡大に向けては、上部団体によるラジオCM、また、当センターでは、バス車内放送などの公共交通機関での宣伝、新聞折り込み広告等を実施しております。

安全就業については、「安全はすべてに優先する」というスローガンのもと、会員の皆様には安全就業に取り組んでいただいておりますが、安全に就業するためには、健康に留意することが必要です。知識や経験を生かし、安全に就業することが、地域への貢献につながるものと考えております。

入会後の会員の皆様には、就業意欲を高めてもらい、就業環境の整備を充実させ、就業機会の拡大を図ってまいります。

今後とも、会員の皆様の安全第一とご健勝、そして、一層のご発展を願い、就任の挨拶とさせていただきます。

## 【副会長挨拶】



窪田 進

会員の皆様におかれましては、暑い中、元氣にご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、理事、監事の皆様のご推挙をいただき、副会長に就任させていただきます。

シルバー人材センターの役割は、就業等を通して地域社会に貢献することと会員の皆様が充実した日々を過ごせるよう環境整備のお手伝いをする事だと思っております。

センターの基本理念である「自主・自立」「共働・共助」をベースに会員の皆様の就業機会を増やすこと、そしてより一層、安全で楽しく就業が続けられる体制を作りたいと考えています。

自分が副会長でいいのかという思いはありますが、会員・事務局の皆様のご協力・ご支援を頂きながら、会長を補佐し、副会長としての役割を果たせるよう微力ではありますが、努力する所存です。

どうぞよろしくお願い致します。

## 【常務理事兼事務局長挨拶】



宮田 智雄

4月1日付で、広沢事務局長の後任として、着任させていただきましたことになりました。日々、緊張の連続で職務を遂行する中、会員の皆様や職場の仲間を支えていただきながら、早4か月が経過したところでございます。

さて、コロナ禍や世界情勢の不安定さは、社会経済活動はもとより、シルバー人材センター事業におきましても大きな影響を与え、「会員の拡大」及び「就業機会の確保」は重要課題となっております。事務局といたしましては、創意工夫の下、この難局に立ち向かえるよう専心してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

総務委員会

委員長 西永 宣昭

令和5年度の新たな総務委員会体制の中で、委員長を務めることになりました。皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

- 令和5年度の総務委員会の事業は、総務委員会の任務である福利厚生事業をはじめ、シルバー人材センターにおける組織課題への取組など、総合的な懸案事項を事務局並びに委員の皆さんの活発な意見のもと、検討していきたいと考えています。
- ①「特殊詐欺・悪質商法等の被害防止」講演会を9月15日(金)中央公民館で開催します。参加者の募集と講演内容につきましては、別紙のチラシをご確認ください。
- ②「会員作品展」は、12月開催に向けて準備してまいります。出店作品数に苦劳しています。皆様のご協力をお願いします。
- ③「ウオーキング」は、昨年、雨天のため中止になりましたが、令和6年3月に実施予定です。

曾根副委員長(会員)、村林委員(理事)、川田委員(会員)、

峯岸委員(会員)ともども、よろしくお願ひします。

事業委員会

委員長 田中 雅城

ここ数年のコロナ禍により、多くの事業活動が制限されてきたが、感染状況もやや落ち着いてきたので、引き続き状況を見ながら事業活動を平常時に戻していく予定。

- ①事業委員会…毎月の第2火曜日14時～センター会議室で開催。
- ②新入会員研修会…毎月理事会の翌日に開催し、センターの仕組みや就業時の注意事項など、会員として必要な基礎知識を習得してもらう。
- ③接遇研修会…会員の接遇スキル向上のため、外部の専門講師を招き、2日間(午前・午後)計4回開催予定。受講対象となる職群班や会員についても検討する。
- ④就業相談…毎月第3火曜日にセンター会議室で開催予定。
- ⑤就業開拓…取引額上位20社を中心に企業表敬訪問を9月中旬に再開予定。継続受注への御礼と会員の就業状況の把握や追加受注などの深堀を目指す。
- ⑥事業報告会…事業実績の中間報告以外にイベント的要素も加えて2月に開催予定。

委員会メンバーは、田中(理事)委員長、木川副委員長、小林・村林・松堂各委員です。

ご協力をよろしくお願ひします。

広報委員会

委員長 福田 一彦

この度、広報委員会委員の方々に推挙いただきまして前遠藤委員長の後任で委員長をさせていただきます。事務局及び委員の皆様と協力して運営したいと思っております。感染症もようやく減少の気配が見え始め、国の規制も緩和されました。今後例年通りの活動が出来る事を期待しております。

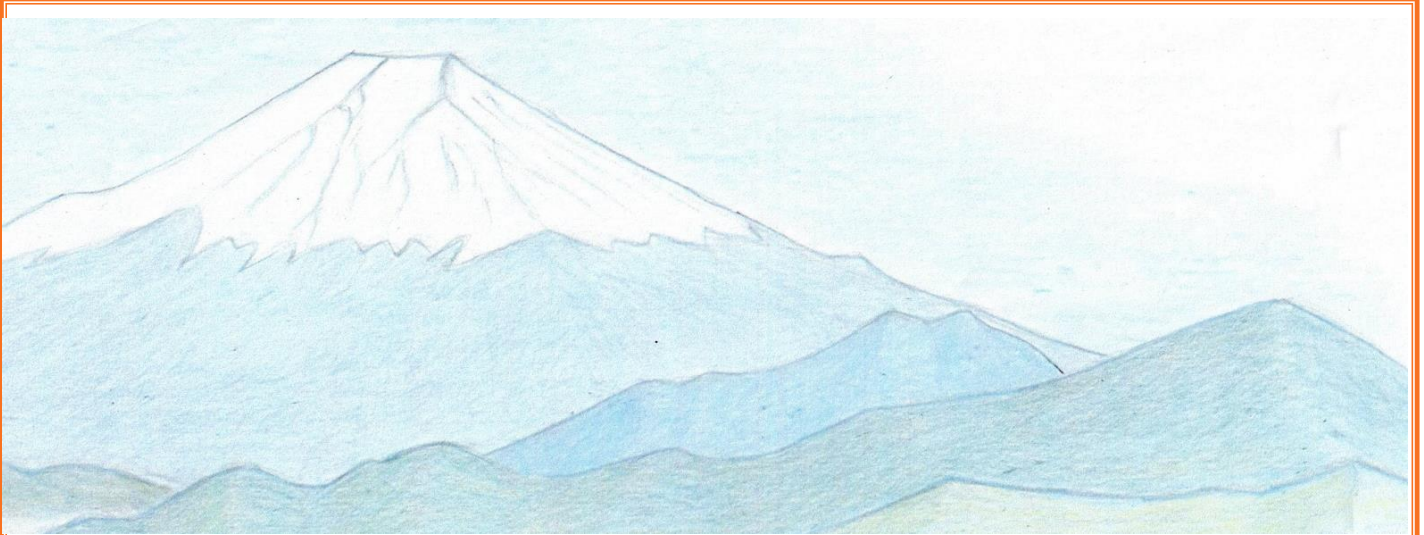
- ①市内のイベントに参加してセンターのPRに努めます。
- ②10月…道路美化清掃を行い、日頃お世話になっている市民の皆様へ感謝の気持ちを示すとともに、センターのPRに務めてまいります。
- ③11月…社会福祉協議会主催の福祉祭に出店し、売上金を寄付いたします。詳細につきましては決まり次第お知らせいたします。
- ④広報誌「けやき」の発行に向けて、例年通りの活動をしていきます。皆様からの投稿が少なく、誌面作りに苦劳しております。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

安全管理委員会

委員長 窪田 進

安全管理委員会では、令和5年度に入り、新型コロナウイルス感染も落ち着いてきたことから、以下の活動を展開してきています。

- ①安全就業パトロール実施  
実施日…5月18日(木)  
対象職群…植木班  
場所…湖畔 個人宅
- ②令和5年度健康診断受診調査  
回収率…77%  
受診率…91%
- ③安全だより46号発行
- ④熱中症予防講習会の開催  
7月3日(月)、大塚製菓(株)に講師を依頼。屋外作業の職群を対象に20名が参加。
- ⑤安全管理委員会組織再編成  
前役員任期満了に伴う委員長、副委員長が就任し、新任委員7名を含め、総勢11名で、気持ちも新たに活動を進めてまいります。
- ⑥今後の予定  
応急救護訓練や転倒予防講習会などの各種安全講習会を予定していますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。また、役員や委員による安全就業パトロールも引き続き行う予定です。



## 会員寄稿

「人生と山登り」

新堀A班 木下 茂

表紙の絵は、鷹ノ巣山頂からの富士展望である。また、西に目をやれば、白銀に輝く南アルプスの山々が一望される。さらに丹沢や、奥多摩の山々が続く。東京で一番展望の良い山である。

### 一、鷹ノ巣山の登山ルート

① 奥多摩駅から六ツ石山を経て、山頂コースタイム6時間20分。このコースは、山頂までの距離が10kmを超えるため、かなりの体力が必要。しかし、比較的緩やかな登りが続く（平均斜度8度）。

② 峰谷バス停から浅間尾根を経て山頂コースタイム3時間20分。このコースは、奥多摩駅からバスで30分弱で峰谷集落に着く。一時間ほど歩くと浅間尾根に辿りつく。この尾根の1300m（1500mの広葉樹（ミズナラ）の樹林帯は、最高に美しい。尾根の幅も十分広く穏やかで、本当に気持ちがいい山歩きが楽しめる。

③ 倉戸山、榎ノ木山、水根山を経て山頂タイム4時間40分。このコースは、3つの山を越えていくので、かなりきつい登りが強いられる。山頂まで、7・7kmと距離もある。自己の精神と身体を鍛えるには有効なコースである。

### 二、山登りのいろいろな思い出

私の初めての山登りは、今から50年以上前の高校一年の時である。クラスの友達に誘われて4人で奥多摩の川苔山（1363m）に登った。その頃は貧しく、千円の交通費を工面するのも苦労した。登山靴を買うお金もないので、普段の運動靴で登った。

奥多摩駅からバスに乗り、川乗橋で下車。林道に沿って百尋の滝まで1時間半で着く。そこから山頂まで急傾斜の登りが2時間続く。初めての登山だったので、この登りがかなりきつかった。

やっとの思いで山頂に立った。山頂の景色は、全く覚えていない。記憶に残ったのは「きつかった」ことだけだったが、山は好きになった。高校二年になり、東京の最高峰、雲取山（2017m）に登ろうという話になり、例の4人で、夏休みに登ることになった。

2000m級の山に登るのは、みんな初めてなので興奮していた。鴨沢から雲取山山頂まで距離11km、標高差約1500mあるので、6時間はかかる。

炎天下の8月の登山は暑く、みんな汗がダラダラだ。喉が渇くから水を飲む。3時間で石尾根の稜線に辿り着いた時には水筒の水は空になっていた。そこから山頂まで4kmは、喉の渇きとの戦いであった。

### 三、「なぜ山に登るのか」この問いに

対する私の答えは次の4つである。

① 友達と楽しい時間を過ごしたい。汗を流し、達成感を味わいたい。登山を始めて数年間は右のような考えで、私は山に登っていた。年齢を重ねると考えは変わっていた。

② 大自然に触れ会いたい。癒されたい。新鮮な空気を吸いたい。一人になって自分に向き合いたい。社会人になると、人間社会の色々な煩わしさから解放されたいと思うことがたびたびある。自分の精神のバランスを回復させるために山に登るのである。

③ 限界への挑戦、探求心、好奇心。何年も山登りを続けていると、自分の体力の限界はどれ程か知りたくなってくる。また、ある山の山頂に立つと、いくつも山が見えて、次はあの山が知りたいという探求心、好奇心が自然と湧き上がってくるのだ。

④ 大自然の中を歩いて汗を流し、心身の健康を養うため。70才を過ぎると、何もやらなければ体力がどんどん落ちていく。人生百年時代、30年先を考えると、体力を落とさず健康に生きることがいかに大切であるか。この先、シルバー人材センターの仕事が続いていくためにも、私は山登りを続けたいと考えている。

会員寄稿

「次に生まれてきたときは

(お酒と私)」

桜が丘A班 池野哲夫

私のからだは、生まれつきアルコールを全く受け付けてくれず、日本酒はせいぜい盃に三杯か四杯、ビールはグラスに一杯が限度で、それ以上飲むと急速に酔いがまわり、気分が悪くなって醜態をさらしてしまいます。

しかし、それでも若い頃は、飲めないのは飲み足りないからだ、「修行」を積みめば必ず飲めるようになる、という先輩の言葉を信じて、飲めない酒を無理に流し込んでいた時期もありました。ところが、飲むたびに死ぬ思いをするだけで、いつまでたっても一向に飲めるようにならない。そこで、酒など金輪際飲むものかと決意を固め、何と言われても盃は手にしないことにしました。それ以来、祝杯をあげるときなどは、盃を口元に運ぶだけで、その場を取り繕ってききました。

従って、私には、パワハラやセクハラをはじめとする酒の上での失態や過ちといったものはなく、この歳まで無難に世渡りしてきましたが、振り返ってみると、これはこれで何となく物足りなくもあり、面白味の少ない人生だったようにも思えてきます。

お酒というのは大変便利なもので、初対面の人との距離も「まあ一杯。」とやっているとうちに一挙に縮めることができる。緊張感や警戒心を自然に緩めて、人間関係を円滑に導いてくれます。

ところが、下戸(げこ)お酒が飲めない人の総称)は、そうしたお酒の恩恵に授かりたくても授かることができません。古い話ですが、結婚することになって初めて家内の実家へ挨拶に赴いたときのことです。義父と差し向かいになったまではよかったです。私がお酒を差ししつ差されつつ下戸ではお酒を差しつ差されつつすることもかなわず、仕方なく一人で盃を傾けていた義父の困り果てたような表情を思い浮かべると本当に申し訳なかったと思います。お酒の楽しいところは、日頃は取り澄ましている人物が、酔った勢いで、ついポロリと本音や本性を露呈してしまうところであり、そこがご愛嬌ともいえるのですが、下戸にはそうしたところがない。勧められても決して飲もうとしない下戸の態度は、かたくなで可愛げのないものに見えることでしよう。私はかつて「飲めない奴は信用できない。」と言われたことがありますが、その言葉の意味はわかる気がします。

お酒が取り持つ縁、というように、人付き合いだってお酒が飲めたらもつと広がっていたかも知れません。

下戸は、気の合う仲間と酒場に行くと、周囲が盛り上がりだしてもひとりだけ蚊帳の外。また、旅先で洒落た店構えの小料理屋を見つけても、カウターの向こうから「いらっしやい。お飲み物は何を？」と聞かれると、つい二の足を踏んでしまふ。飲む方にはおわかりいただけませんが、下戸とはそういうものなのです。

お酒を飲む方が経験されてきたような、酔ったときの快い至福のひととき。一度でいいから私もそんな思いをしてみたい。た。「クレオパトラの鼻がもう少し低かったら、世界の歴史は変わっていたかも知れない。」という言葉を借りれば、お酒が飲めたら、私の一生も、もう少し違ったものになっていたかも知れませんが。

次に生まれてきたときは、お銚子の一々二本は空けることができるようでありたい、と切に願う次第です。

新入職員挨拶

6月30日付で、氏井正幸主任が退職したことに伴いまして、7月1日付で新たに職員が採用されました。



浦井 祐希

このたび7月1日より、東大和市シルバー人材センターに勤務することとなりました。浦井祐希(わくいゆうき)と申します。

前職では、信用金庫職員や医療法人の事務職員として従事しておりました。

趣味は、野球観戦やパンケーキを食べに行くことです。

先輩方からご指導をいただき、少しでも早く会員の皆様のお役に立てるよう邁進してまいります。

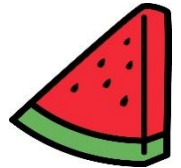
令和5年7月1日現在

センターの今後の予定

※今後の予定につきましては、状況により変更する場合がございますので、予めご承知おきください。

月	日	曜日	時間	内容
8	9	水	9:00	入会説明会
	15	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	16	水	9:00	入会申込日
	17	木		配分金振込
	31	木	9:00	定例理事会
9	1	金	9:30	新入会員研修会
	13	水	9:00	入会説明会
	19	火		配分金振込
			予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	20	水	9:00	入会申込日
	28	木	9:00	定例理事会
	29	金	9:30	新入会員研修会
10	11	水	9:00	入会説明会
	17	火		配分金振込
			予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	18	水	9:00	入会申込日
	26	木	9:00	定例理事会
	27	金	9:30	新入会員研修会

入会説明会に参加を希望される方は、前日までにシルバー人材センターまでご連絡ください。電話042-565-0531



就業相談日

相談時間帯

2023年 8月15日(火)	12月19日(火)	①14:00 ②14:30 ③15:00 ④15:30 ⑤16:00 各時間1名
9月19日(火)	1月16日(火)	
10月17日(火)	2月20日(火)	
11月21日(火)	3月19日(火)	

●申し込み  
電話またはセンター窓口で、事前予約を  
してください。

就業相談を  
実施しています。

申し込み期限は、各月第2火曜日までです。電話042-565-0531

編集後記

今期より、広報委員は、理事3名・委員3名の合計6名にて活動をいたします。会員に親しまれる広報誌を目指します。  
コロナ禍においては、広報委員会も十分な取材活動が出来ませんでした。今後は取材と編集作業を継続して、幅広い情報と、会員皆様に役立つ記事を提供したいと思っています。今後もしよろしくお願いたします。

会員の作品・投稿募集

会員の皆様の作品・投稿を募集しております。  
写真・絵画・彫刻・手芸などの作品／紀行文／川柳／「私のふるさと」の投稿等、何でも結構です。  
投稿は必要に応じて写真を添付いただき、郵送、持参のどちらでも結構です。  
掲載させていただいた投稿には、お礼を申し上げます。  
会員の皆様の投稿を心よりお待ちしております。